

Sinfonia

シンフォニア

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.57

2023 5月 - 7月

2023 5/10 発行

TAKE FREE



Tonhalle Orchester Zürich



Czech Philharmonic



NDR Elbphilharmonie Orchester

The Symphony Hall

プラチナコンサート 世界の巨匠とともに 2023



〔指揮〕 アラン・ギルバート



〔指揮〕 セミヨン・ビシュコフ



〔指揮〕 パーヴォ・ヤルヴィ



〔ピアノ〕 反田恭平



〔チェロ〕 パブロ・フェランデス



〔ピアノ〕 ブルース・リウ

2023 > 2024

ジルベスター&ニューイヤーコンサートに

速報!!

ウクライナ国立 フィルハーモニー 交響楽団が出演決定!

National Philharmonic Society of
UKRAINE KIEV

ジルベスターコンサート 2023.12/31(日) 5:00PM 開演

ニューイヤーコンサート 2024. 1 / 1 (月) 3:00PM 開演 (予定)



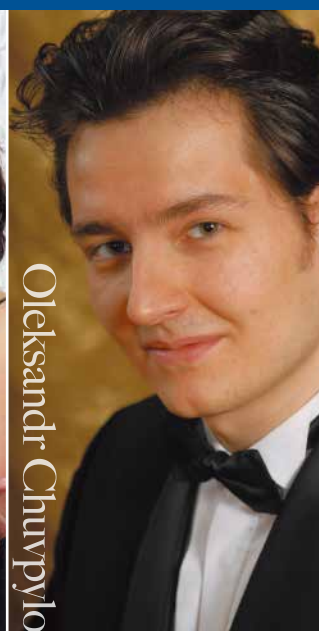
Ivanna Plish

ソプラノ
イワンナ・プリシュ



Olga Tabulina

アルト
オリガ・タブリナ



Oleksandr Chuprylo

テノール
オレクサンドル・チュフピロ



Andrey Maslakov

バリトン
アンドリー・マスリャコフ



Mykola Diadura

指揮
ミコラ・ジャジュラ

お楽しみに!

詳細は、次号シンフォニア58号で発表!!

- 02 The Symphony Hall プラチナコンサート
世界の巨匠とともに2023
- 03 世界の巨匠とともに2023 チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団
- 04 世界の巨匠とともに2023 ブルース・リウ スペシャルインタビュー
- 06 世界の巨匠とともに2023 チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
- 08 世界の巨匠とともに2023 NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団
- 10 Best of Orchestra 2023 若き巨匠の新世界
- 12 プラスdeアニメ by The Symphony Hall Super Brass
- 13 Osaka Shion Wind Orchestra 第149回定期演奏会
- 14 上原彩子 ピアノ・リサイタル《オール・ラフマニノフ・プログラム》
- 15 美しき日本のうた2023
- 16 クラシック・キャラバン2023 華麗なるガラ・コンサート
- 18 The Symphony Hall Big Band vol.20 一星に願いをー
- 19 ライト・シンフォニックコンサート〜大人の贅沢〜
指揮・藤野浩一 インタビュー
- 20 広島交響楽団 第432回定期演奏会 大阪公演
フォルクハルト・シュタイデ インタビュー
- 22 江陵市交響楽団 2023年日本公演
- 23 関西フィル 第9回親子定期演奏会
第4弾 夏休み自由研究は、これで決まり!! ~音楽と物語~
- 24 新 超絶のオペラ座の怪人 大木麻理 インタビュー
- 25 オールパッサン名曲選! 真夏のオルガンコンサート2023
- 26 関西4オケ Pick Up コンサート
- 28 ピアノ・リサイタル Romance ベネデット・ルーボ インタビュー
- 29 京都大学交響楽団 第213回 定期演奏会
大阪府医師会フィルハーモニー 第52回 定期演奏会
- 30 ABCテレビ主催公演:イベント情報
- 34 日本センチュリー交響楽団
- 36 堀江政生のシンフォニア・アワー vol.57
- 37 小味津彦之「こみちゃんの温故知新」vol.3
- 38 ホールトピックス
- 39 Concert Calendar 2023.5~2023.7

5月のSinfonia会員先行予約について

Sinfonia会員先行予約を開始する5月20日(土)~6月4日(日)の期間は「お電話」と「窓口」の営業時間を10:00~18:00とさせていただきます。

※上記以外の営業時間は、お電話・窓口ともに11:00~16:00(火曜定休)とさせていただきます。

※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。

※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。

●電話:ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休)

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、営業時間が変更となる場合がございます。

詳細はホームページをご確認ください。

●WEB: <https://www.symphonihall.jp/>

登録費
年会費
無料!

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ
<https://www.symphonihall.jp/> からご登録下さい。

▼ ハガキでのご登録

定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。

【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)

【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3

ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係

※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。「@symphonihall.jp」をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報の取り扱いについては、個人情報に関する法令、規範に準拠して適切に管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のみに使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1) シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送 (2) ザ・シンフォニーホールで開催する催事をご案内する印刷物の発送 (3) ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡 (4) ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発、改善を目的とした調査、研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積 (5) チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡 (6) 株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものとなります。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報が安全に管理されるよう適切に監督します。

The Symphony Hallへご来場のお客様へ

新型コロナウイルス感染症対策に 関してのお知らせ

The Symphony Hallでは、政府の発表、指針に従い、2023年3月より、これまでの規制を一部緩和して参りました。そして5月8日より新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けについて、季節性インフルエンザ等と同じ「5類」に移行するにあたり、ガイドラインによる規制、自粛自体が廃止される事を受けコロナ関連で行われて来た全ての規制等を終了する事となりました。この事により、3月の規制緩和の時に一部残りました、声援時のマスク着用等の規制も終了致します。マスクの着用・非着用はお客様ご自身でご判断いただくこととなりました。

私たちは3年間にわたりマスク着用の生活を送って参りましたが、マスク着用の有無に関わらず、ご入場・ご鑑賞頂けるようになりました。お客様お一人おひとりのお考えを尊重しながら、安心して音楽を楽しんでいただけるよう、ご入場口には引き続き検温器、館内にはアルコール消毒液を設置しておりますので、ご希望に応じて引き続きご利用ください。

お客様の自己管理のもと、良質な音楽を皆様と共有できるよう、ご理解の程、お願い申し上げます。

尚、これに伴うお座席の変更や払い戻しは承りませんので、予めご了承くださいませよう、お願い致します。

クラシック音楽の魅力、ホールの舞台裏の様子など
ザ・シンフォニーホールの情報をいち早くチェック!



Twitter



Facebook



Instagram



YouTube



アンコール曲の掲示

お客様の密集を防ぐため、アンコール曲は会場内に掲示せず、ザ・シンフォニーホールのTwitterでお知らせ致します。ぜひチェックしてください。



Tonhalle Orchester Zürich

Vol.1

チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団

パーヴォが名門トーンハレ管と来日！！

パーヴォ・ヤルヴィが新たなパートナー、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団と来日。

ショパン・コンクール優勝者のブルース・リウとラフマニノフも！



ブラームスも指揮した、スイスの伝統あるオーケストラ
 パーヴォ・ヤルヴィは、今、世界が最も注目する指揮者の一人である。2010年頃には、パリ管弦楽団、フランクフルト放送交響楽団、シンシナティ交響楽団、そして、ドイツ・カンマーフィルのシェフを兼務していた。その後、NHK交響楽団の首席指揮者を務め、故郷エストニアでは、バルヌ音楽祭およびエストニア・アンフェスティバル管弦楽団も立ち上げた。ベルリン・フィルなどの世界最高峰のオーケストラにも定期的に招かれている。そんなパーヴォが2019年から首席指揮者を務めているのが、スイスの名門、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団である。

パーヴォは、周知のとおり名指揮者。ネーメ・ヤルヴィの長男として生まれた。ヤルヴィ家は音楽一家であり、弟クリスチャンも指揮者、妹マリーカはフルート奏者として活躍している。パーヴォの指揮する音楽の魅力としては、生き生きとした躍動感、キレの良さ、音楽作りの緻密さなどがあげられる。

チューリッヒ・トーンハレ管は、ヨーロッパを代表するホルの一つであるチューリッヒのトーンハレ（ドイツ語で「音のホール」の意）を本拠地としている。その起源は、1850年代前半、チューリッヒに滞在していたワグナーが音楽家を集めて指揮をした演奏会にあるといわれる。1868年にトーンハレ協会が創設され、オーケストラも結成された。その後トーンハレが建設され、1895年の開館記念公演にはブラームスが招かれ、自作の「勝利の歌」を指揮した。

パーヴォ・ヤルヴィとチューリッヒ・トーンハレ管にとって、今回のツアーは、日本でのこのコンビのお披露目公演となる。演奏会では、トーンハレ管弦楽団と縁のあるブラームスの作品から交響曲

第1番が取り上げられる。パーヴォにとってブラームスの交響曲は、ドイツ・カンマーフィルと全集を残すなど、十八番としているレパートリーである。パーヴォの新鮮な解釈と名門オーケストラとがどんな化学反応を起こすかは聴きものである。

また、パーヴォは協奏曲の指揮も卓越している。2021年ショパン国際ピアノ・コンクール優勝者、ブルース・リウとのラフマニノフのピアノ協奏曲 第2番も非常に楽しめた。リウは、パリに生まれ、カナダで育ち、ダン・タイソンに師事。まだ25歳だがレパートリーは広い。2023年は、ラフマニノフの生誕150周年であり、数多くのピアニストがラフマニノフに取り組むが、このブルース・リウとパーヴォのコラボレーションは、それらのなかでも一際目覚ましいものになるに違いない。

(文 山田治生)



Special Interview
4・5ページで
スペシャル
インタビュー
掲載！！

The Symphony Hall

。プラチナコンサート。

世界の巨匠とともに 2023

Vol.1 チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 大阪公演

2023.10/21(土) 3:00PM開演

[指揮] パーヴォ・ヤルヴィ

[ピアノ] ブルース・リウ

[管弦楽] チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団

S 24,200円 A 20,900円 B 16,500円 (全席指定 税込)

PROGRAM

ベートーヴェン: 「献堂式」序曲 op.124

ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18

ブラームス: 交響曲 第1番 ハ短調 op.68

Vol.2 チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

2023.11/3(金・祝) 3:00PM開演

[指揮] セミヨン・ビシュコフ

[チェロ] パブロ・フェランデス

[管弦楽] チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

S 24,200円 A 20,900円 B 16,500円 (全席指定 税込)

PROGRAM

ドヴォルザーク: 「オテロ」序曲 op.93

ドヴォルザーク: チェロ協奏曲 ロ短調 op.104

ドヴォルザーク: 交響曲 第8番 ト長調 op.88

Vol.3 NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団 大阪公演

2023.11/22(水) 7:00PM開演

[指揮] アラン・ギルバート

[ピアノ] 反田恭平

[管弦楽] NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団

S 22,000円 A 19,800円 B 15,400円 (全席指定 税込)

PROGRAM

ブラームス: ピアノ協奏曲 第1番 ニ短調 op.15

ブラームス: 交響曲 第2番 ニ長調 op.73

3公演すべて同じお座席でお楽しみいただける
プラチナセット券をご用意しました。

プラチナセット券	75,000円 (全席指定 税込)	発売日(各日10:00~)	一般発売	Sinfonia 会員先行
		プラチナセット券	5月21日(日)	5月20日(土)

●プラチナセット券は、ザ・シンフォニー チケットセンターでのみお取り扱いします。他のプレイガイドでの販売はございません。
 ●Vol.1とVol.2の一般販売は5月28日(日) 10:00~、Sinfonia会員先行は5月27日(土) 10:00~
 Vol.3の一般販売は6/4(日) 10:00~、Sinfonia会員先行は6/3(土) 10:00~です。

プラチナセット券についての
ご案内はこちらから



Special
Interview
スペシャル
インタビュー

ブルース・リウ ブルース・リウ

鈴木久美子 撮影

第18回シヨパン国際ピアノコンクールで優勝し、一躍脚光を浴びて世界中で活躍しているブルース・リウ。巨匠パーヴォ・ヤルヴィとの初共演に期待が高まる！

みずみずしい感性で描き出す ラフマニノフの世界

すよね。今でも趣味は多く、カナダの自宅に
いるときは毎日泳いで
います。

——趣味のひとつに
カートレースがあるぞ
うですね。

毎年夏休みは北京の祖
父母の家で過ごしてい
たので、中国に自分たち
のレーシング・チームがあります。

うか、緊張しながら演奏してしま
したが、セミファイナルまで進むこと
ができ、リラックスして思い通りの
演奏をすることができました。

多様な文化的背景によって育
まれたフレキシブルな個性

——北京出身のご両親のもとに
パリで生まれ、6歳からカナダの
モントリオールに移り、ピアノを
習い始めたのは8歳からと早くは
ないですね？

それも55鍵の電子キーボードで、
1日10分くらい弾いていた
だけ。チェス、囲碁などのゲーム、
テニス、サッカー、卓球、水泳など
のスポーツも大好きで、趣味のひ
とつとして習っていたんです。2
年ほどして、鍵盤が足りなくなっ
たのでアップライトピアノを買っ
てもらい、ジュニアの小さなコン
クールで優勝したのがきっかけ
で、真面目に取り組むようになり
ました。子どもってそんなもので

自由でフレキシブルになったかも
しれません。何でも受け入れられ
ることは音楽家にとって重要だと
思います。様々な作品を演奏し、
様々なストーリーを表現しなけれ
ばならないのですから。

——趣味のひとつに
カートレースがあるぞ
うですね。

毎年夏休みは北京の祖
父母の家で過ごしてい
たので、中国に自分たち
のレーシング・チームがあります。

うか、緊張しながら演奏してしま
したが、セミファイナルまで進むこと
ができ、リラックスして思い通りの
演奏をすることができました。

多様な文化的背景によって育
まれたフレキシブルな個性

——北京出身のご両親のもとに
パリで生まれ、6歳からカナダの
モントリオールに移り、ピアノを
習い始めたのは8歳からと早くは
ないですね？

それも55鍵の電子キーボードで、
1日10分くらい弾いていた
だけ。チェス、囲碁などのゲーム、
テニス、サッカー、卓球、水泳など
のスポーツも大好きで、趣味のひ
とつとして習っていたんです。2
年ほどして、鍵盤が足りなくなっ
たのでアップライトピアノを買っ
てもらい、ジュニアの小さなコン
クールで優勝したのがきっかけ
で、真面目に取り組むようになり
ました。子どもってそんなもので

自分自身のアプローチで
シヨパンの音楽に挑んだ

——2021年のシヨパンコン
クールでは、のびやかで躍動感に満
ちた演奏で聴衆を魅了し、すべての
ラウンドで審査員全員が最高点を
つけ、見事に優勝を果たしました。

審査員の方たちが僕の演奏を認
めてくださったことをうれしく
思っています。コンクールに参加す
るまで、自分がシヨパンに向いてい
ると思ったことはありません。一
般的にシヨパンというと、哀しげ
でノスタルジック、病を抱えて苦
悩に満ちていたというイメージが
ありますよね。それって、僕とは
まったく正反対のキャラクター(笑)。
でも、シヨパンも人間で、喜びや幸
せを感じる瞬間もあったはずで
す。僕なりのアプローチで、シヨパ
ンの音楽に迫ってみたいと思いま
した。

——今年3月1日のザ・シンフォ
ニーホールでのリサイタルで聴
かせてくださった「モーツァルト
の歌劇『ドン・ジョバンニ』の主
題による変奏曲」のセミファイナル
での演奏は、審査員に「世紀の名
演」と絶賛されました。

雲の上にいるように楽しく演
奏したのを覚えています。10代の
シヨパンの若々しい魅力にあふ
れた作品です。一次予選、二次予
選は、次のラウンドに進めるかど

弾いた「バガニニ」の主題による
狂詩曲」の方が、僕のキャラクター
に合っているかもしれません。で
も、10年ぶりに「ピアノ協奏曲 第
2番」に取り組み、あらためて楽譜
を読み解いていると、新たな発見
がたくさんあります。この10年間
の自分自身の成長を感じながら演
奏できたらいなと思います。実
は指揮にも興味があつて、いつか
弾き振りをしてみたいなと思っ
ているんです。そういう意味でも、巨
匠パーヴォ・ヤルヴィ、チューリッ
ヒ・トーンハレ管弦楽団との共演
は、とても楽しみです。

(取材文 森岡 葉)

巨匠パーヴォ・ヤルヴィとの
共演が楽しみ

——10月21日、ザ・シンフォニーホ
ールで巨匠パーヴォ・ヤルヴィ指揮、
名門オーケストラ、チューリッヒ・
トーンハレ管弦楽団との共演でラ
フマニノフ「ピアノ協奏曲第2番」
を聴かせてくださいます。

ラフマニノフは大好きな作曲家
で、抒情あふれる音楽に魅了され
続けています。「ピアノ協奏曲 第
2番」を初めて弾いたのは、15歳の
ときです。コンクールでモントリ
オール交響楽団と演奏し、その後
もう一度ガラ・コンサートで演奏
したのですが、若い僕には難しい
作品かなと考え、しばらく封印し
ていました。2016年の仙台国
際音楽コンクールのファイナルで

チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 大阪公演

指揮 パーヴォ・ヤルヴィ [ピアノ]ブルース・リウ

管弦楽 チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団

ベートーヴェン:「献堂式」序曲 op.124

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18

ブラームス:交響曲 第1番 ハ短調 op.68

2023.10/21(土) 3:00PM

S 24,200円 A 20,900円 B 16,500円(税込)

※「世界の巨匠とともに」3公演プラチナセット券75,000円の詳細はP2をご参照ください。

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行: 5/27(土) 一般発売: 5/28(日)

Czech Philharmonic

Vol.2

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

巨匠ビシュコフとチェコ・フィルの
オール・ドヴォルザーク・プログラム！

チェコ・フィルが首席指揮者セミヨン・ビシュコフとともに
極めつきのドヴォルザークを披露！
気鋭のパブロ・フェランデスが弾くチェロ協奏曲にも注目！

©Petr Kadlec

指揮 **Semyon Bychkov**
セミヨン・ビシュコフ

チェロ **Pablo Ferrández**
パブロ・フェランデス

©IGOR STUDIO

コロナ禍を経て、
ドヴォルザークの遺産 名門チェコ・フィル、
4年ぶりの来日が実現！！

チェコ・フィルハーモニー管弦
楽団は、東ヨーロッパ随一の伝統
と実力を誇るオーケストラであ
る。本拠地のドヴォルザークホ
ール（第1回演奏会もそこでひら
れた）はヴルタヴァ川（モルダウ
川）の河畔の歴史あるルドルフ
ヌム（1885年開館のなかにあ
る。チェコ・フィルはもともと国民
歌劇場のオーケストラであった。
チェコ・フィルとしての活動は、
1896年1月、ドヴォルザーク
を指揮者に迎えての第1回演奏会
に始まる。このコンサートでは、ド
ヴォルザークは自作の交響曲第
9番「新世界より」や序曲「オテ
ロ」を指揮した。1901年に国
民歌劇場から独立し、コンサート
専門のオーケストラとなる。
1908年にはボヘミア出身の
マラーがチェコ・フィルを指揮
して自作の交響曲第7番を世界初
演した。

1919年に、ヴァーツラフ・
タリリツヒが首席指揮者に就任
し、その実力が国際水準まで引き
上げられた。その後も、ラファエ
ル・クーベリック、カレル・アン
チエル、ヴァーツラフ・ノイマン、

イルジー・ピエロフら、
チェコの名指揮者たちが、さまざ
まな政治的な変動や混乱を乗り越
えて、オーケストラを発展させ、伝
統を受け継いできた。

チェコ・フィルは、良い意味での
ローカリティ（中央ヨーロッパ風
のおっとりとした感じ）を残す
オーケストラである。とりわけ落
ち着いた音色の弦楽器や素朴で温
かみのある木管楽器の歌は、本当
に魅力的だ。「ブラハの春」国際音
楽祭でのスメタナの「わが祖国」の
演奏が広く知られ、スメタナやド
ヴォルザークの作品の演奏に関し
ては他のオーケストラの追隨を許
さない。

2012年から首席指揮者を務
めていたピエロフラーヴェクの急
逝後、2018年に首席指揮者に
就任したのが、セミヨン・ビシュ
コフであった。ビシュコフは、
1952年、レーニングラード（現在
のサンクトペテルブルグ）生まれ。
同地の音楽院で名教師イリヤ・
ムーシンに師事した。1973年
にラフマニノフ指揮者コンクール
に優勝。1975年、アメリカに
渡った。1985年にベルリン・

フィルにデビュー。1989年に、
バレンボイムの後継者として、30
代後半の若さでバリ管弦楽団の音
楽監督となる。その後、ケルン放送
交響楽団やドレスデン国立歌劇場
（ゼンパーオーパー）の首席指揮者
を歴任。近年もベルリン・フィルに
定期的に招かれていて指揮者の一
人である。チェコ・フィルとは、首
席指揮者就任前後からチャイコフ
スキー・プロジェクトに取り組み、
交響曲全曲及びピアノ協奏曲全曲
（独奏はキリル・ゲルシュタイン）
を録音して、相性の良さを示す。
ビシュコフの指揮は、熱っぽく、
カリスマ性があり、ドラマティッ
クである。そして、70歳を超え、そ
の音楽はまさに円熟の域に達し
ている。

現在、チェコ・フィルは、首席指
揮者ビシュコフのほか、首席客演
指揮者としてヤクブ・フルシャと
トーマシュ・ネトピルという次代
を担うチェコの指揮者たちを擁
し、未来に伝統をつなぐとして
いる。

今回は、チェコ・フィルが十八番
とするドヴォルザークの作品のみ
によるプログラムが組まれている。
メインとなる交響曲 第8番
は、結果的にドヴォルザークが祖
国で作曲した最後のシンフォニー
であり、交響曲 第9番「新世界よ
り」以上にボヘミア色の濃い作品
である。1889年の夏から秋に

かけて別荘のあるヴィソカー村で
書かれ、11月にプラハで完成され
た。ヴィソカーの美しい環境から
インスピレーションを受けたので
あろう。フルートに小鳥のさえず
りが聞こえるなど、ボヘミアの豊
かな自然を思い起こさせる。とり
わけヴァイオリンの哀愁を帯びた
旋律で始まる第3楽章はドヴォル
ザークが書いた最も美しい音楽の
一つといえるだろう。まさにチェ
コ・フィルにぴったりの作品であ
り、彼らの音色が満喫できるに違
いない。

また、1896年の第1回演奏
会でドヴォルザークが指揮した
「オテロ」序曲が取り上げられる
のもうれしい。「オテロ」は、演奏
会用序曲三部作「自然と人生と
愛」の1曲で、シエイクスピアの
「オテロ」にインスピレーション
を受けた劇的な作品である。ビ
シュコフとチェコ・フィルによっ
てこの曲の真価を知ることができ
るであろう。

ドヴォルザークのチェロ協奏曲
は、そのジャンルで最も頻繁に演奏
される傑作であり、独奏チェロだけ
でなく、オーケストラの奏でる音楽
も素晴らしい。今回、チェロ独奏を
務めるのは、アンネリッゾフィー・ム
ターに才能を見出された、スペイン
出身の気鋭のチェリスト、パブロ・
フェランデス。彼はソフィア王妃高
等音楽院で学び、ドイツのクロンベ

【指揮】セミヨン・ビシュコフ 【チェロ】パブロ・フェランデス
【管弦楽】チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

《オール・ドヴォルザーク・プログラム》

「オテロ」序曲 op.93
チェロ協奏曲 口短調 op.104
交響曲 第8番 ト長調 op.88

2023.11/3 (金・祝) 3:00PM

S 24,200円 A 20,900円 B 16,500円(税込)

※「世界の巨匠とともに」3公演プラチナセット券75,000円の詳細はP2をご参照ください。

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：5/27 (土) 一般発売：5/28 (日)

(文 山田治生)



NDR Vol.3 エルプフィルハーモニー管弦楽団 Elbphilharmonie Orchester

©Michael Zapf

アラン・ギルバート、反田恭平、 NDRエルプフィルによるブラームスの夕べ

アラン・ギルバートがブラームスの故郷ハンブルクのNDRエルプフィルと
オール・ブラームス・プログラムを披露。反田恭平がピアノ協奏曲 第1番を弾く！



©T.Tairadate

©Yuji Ueno

指揮 アラン・ギルバート

ピアノ 反田恭平

北ドイツ放送響から改称した NDRエルプフィルに世界が注目

2017年に誕生したエルプフィルハーモニー・ハンブルクはヨーロッパの音楽シーンの最もホットなスポットの一つになっている。エルベ川河畔の再開発地区ハーフェンシティに建設されたモダンなホールは、世界の数々の名ホールを手掛けてきた永田音響設計が音響設計を担当した。北ドイツ放送交響楽団は、そこに本拠地を移し、NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団に名称を変更。「エルプ」とはエルベ川のことを意味する。

北ドイツ放送交響楽団は1945年に創設された。最初は北西ドイツ放送交響楽団と呼ばれたが、1956年に北西ドイツ放送(NDR)がハンブルクの北ドイツ放送(NDR)とケルンの西部ドイツ放送(WDR)に分かれたため、北ドイツ放送交響楽団に名称を改めた。

初代首席指揮者のハンス・シュミット・イッセルシュテットは、自らドイツ各地をまわり、優秀なプレイヤーに呼びかけて、メンバーを集めた。それゆえに、実力は、結成直後からドイツでもトップ・クラスを誇り、フルトヴェングラー、クナッパッブッシュ、エー

リッヒ・クライバー、シュールヒト、クレンペラー、ベームなどの巨匠指揮者が客演した。もちろん、ベートーヴェンやブラームスなどドイツ音楽の演奏を得意としていたが、放送交響楽団としての機能性にも優れ、1954年にはハンス・ロスバウトの指揮でシェーンベルクの「モーゼとアロン」の世界初演(演奏会形式)を行っている。

その後、クラウス・テンシュテットを経て、1982年にギュンター・ヴァントが首席指揮者となり、ヴァント&北ドイツ放送響が奏でるドイツ・オーストリア音楽は世界的な評価を受けた。ヴァントは、1991年に首席指揮者を退いたが、その後も名誉指揮者として定期的に北ドイツ放送響の指揮台に登壇し、2001年の日本ツアーでは歴史に残るブルックナーの交響曲 第9番の名演を繰り広げた。

ヴァントのあと、ジョン・エリオット・ガーディナー、ヘルベルト・ブロムシュテット、クリストフ・エッセンバツハ、クリストフ・フォン・ドホナーニらの世界的なマスターが首席指揮者となり、2011年から18年までは古楽に

も精通するトーマス・ヘンゲルブルックが務めた。ヘンゲルブルックは、北ドイツ放送響とマラーの交響曲 第1番「巨人」を1893年ハンブルク稿で録音した。

2019年、新たな首席指揮者に、ニューヨーク・フィルの音楽監督を務めたアラン・ギルバートが就任した。ギルバートは2004年から15年まで北ドイツ放送響の首席客演指揮者を務め、2018年にエルプフィルハーモニーでマラーの交響曲 第3番を指揮してNDRエルプフィルに大きな可能性を感じたと語っている。ホールがオーケストラを変えたのである。

ギルバートは、ニューヨーク・フィルのヴァイオリン奏者である両親のもとに生まれ、ヴァイオリンを学んだ後、指揮者となる。ニューヨーク・フィルの音楽監督を2009年から17年まで務め、2014年の大阪公演では、小曽根真とのエキサイティングな「ラプソディ・イン・ブルー」で強烈な印象を残した。現在はNDRエルプフィルの首席指揮者のほか、スウェーデン王立歌劇場の音楽監督、東京都交響楽団の首席客演指揮者を兼務している。

今回の演奏会では、ブラームスの故郷ハンブルクのオーケストラにふさわしくオール・ブラームス・プログラムが組まれている。

2018年のこのコンビでの来日公演では、ブラームスの交響曲 第4番が披露されたが、今回は、交響曲 第2番を取り上げる。

1877年、南オーストリアのヴェルター湖畔のベルチャッハを訪れたブラームスは、その風光明媚な土地の自然に魅了され、交響曲 第2番をわずか約4か月で書き上げた。それゆえ約20年を要して完成された重苦しいハ短調の交響曲 第1番とは対照的に、交響曲 第2番は牧歌的で明るく伸びやかな二長調の音楽となっている。弦楽器出身のギルバートがNDRエルプフィルと歌に満ちた演奏を聴かせてくれることだろう。

コンサート前半で演奏されるのはブラームスのピアノ協奏曲 第1番。2021年のシヨパン国際ピアノ・コンクールで第2位に入賞した反田恭平が独奏を務める。反田は、モスクワ、ワルシャワ留学を経て、現在は、ウィーンで研鑽を積んでいる。つまり、ロシアでラフマニノフやプロコフィエフやチャイコフスキー、ポーランドでシヨパンを学んだあと、ウィーンでモーツァルトやベートーヴェンやブラームスなどのドイツ・オーストリア音楽に本格的に取り組もうとしている。そして、ウィーンでは指揮も学ぶ。反田は、近年、ジャパン・ナショナル・オーケストラを主宰し、その指揮にあたり、モーツァルトやマラーの

交響曲を振っている。

ブラームスのピアノ協奏曲 第1番は、24歳の頃に書かれた、彼にとってオーケストラを使った最も初期の作品の一つ。若きブラームスの斬新さや演奏困難な技巧性が示され、協奏曲としては異例の演奏時間の長さ(約50分)を要する大作である。

ウィーンを拠点とし、指揮者としても活動を始めた反田恭平が、ブラームスが自分と同じ20代で書いた交響曲のような壮大なピアノ協奏曲をどう弾くのか、まさに興味津々である。

(文 山田治生)

[指揮]アラン・ギルバート [ピアノ]反田恭平
[管弦楽]NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団

《オール・ブラームス・プログラム》
ピアノ協奏曲 第1番 二短調 op.15
交響曲 第2番 二長調 op.73

2023.11/22(水) 7:00PM

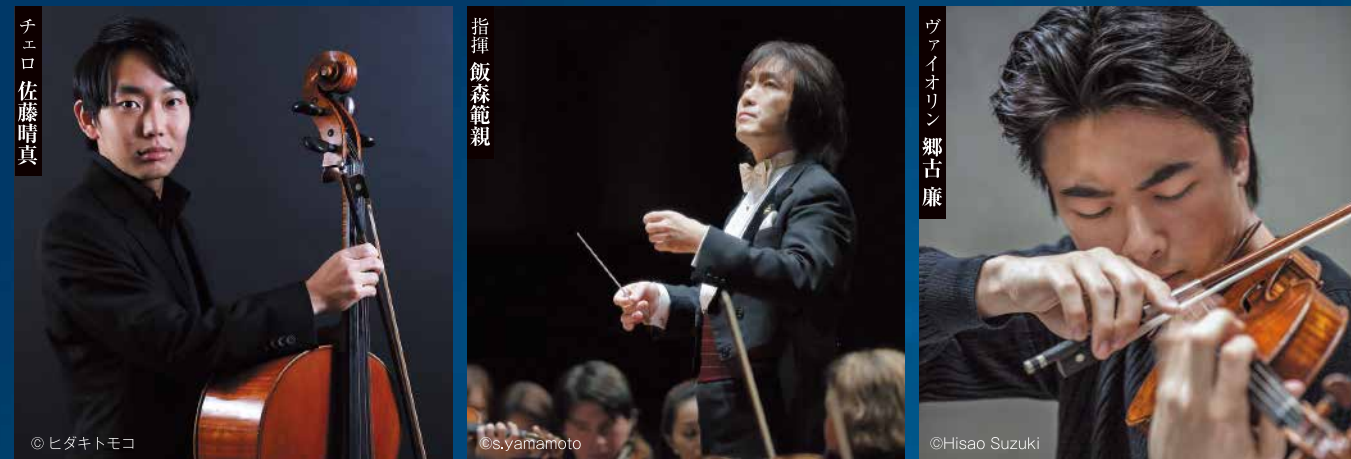
S 22,000円 A 19,800円 B 15,400円(税込)

※「世界の巨匠とともに」3公演プラチナセット券75,000円の詳細はP2をご参照ください。

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：6/3(土) 一般発売：6/4(日)



郷古&佐藤のドッセルコンチエルト、「新世界」ではトッブとして参加！

日本センチュリー交響楽団は、10月に「ベスト・オブ・オーケストラ」をザ・シンフォニーホールで開催する。このコンサートでの注目は、ヴァイオリンの郷古廉とチェロの佐藤晴真によるブラームスの《ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲》の競演と、後半のドヴォルザーク《交響曲第9番「新世界より」》ではオーケストラにも登場し、それぞれコンサートマスター&チェロ首席を務めることだろう。世界トップクラスのふたりが、オーケストラをどのように牽引していくかは、大きな聴きどころだ。

日本センチュリー交響楽団は、優秀な若手のアーティストをソリストとして積極的に起用しており、この公演でも若き名手を迎える。まず、ヴァイオリンの郷古廉は、ティボール・ヴァルガ・シオン国際コンクールの覇者。今年30歳を迎えるが、この4月にNHK交響楽団のゲスト・コンサートマスターに就任、これからのヴァイオリン界を担っていく。また、チェ

ロの佐藤晴真は、2019年ミュンヘン国際コンクール優勝者。今年で25歳となり、ベルリンと日本を往復してソロにアンサンブルに意欲的に活動している。

プログラムは、ドヴォルザークとブラームスの作品。ドヴォルザークは若いころに奨学金に応募した。その審査員の一人がブラームスで、彼の才能を高く評価した。ブラームスは、出版社ジムロックにドヴォルザークを紹介し、彼の《スラヴ舞曲集》を送り出すきっかけを作ったのだ。

ブラームスとドヴォルザーク：ノスタルジックなスラヴの調べ

ブラームスの《ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲》は、彼の友人でヴァイオリンの名手ヨアヒムとの和解の意味が込められた作品。第1楽章にはチェロとヴァイオリンのカデンツァを含み、第2楽章ではふたつの楽器による二重唱のような表現、そして躍動感あふれるフィナーレで結ばれる。

また、ドヴォルザークからは、まず《謝肉祭》序曲 作品92。作品91から93までの3

つの作品は、序曲の三部作「自然、人生、愛」。《謝肉祭》はその第2曲。賑やかな雰囲気、気が伝わってくる音楽で、チェロからアメリカへ渡る直前の創作である。そして、プログラム後半は、アメリカ滞在中に作曲された《交響曲第9番「新世界」》。アメリカのナショナル音楽院長のポストに就くために渡米したドヴォルザークであるが、しばしばホームシックにかかっていただけと伝えられている。この交響曲も、ノスタルジックな情趣に満ちあふれている。

指揮の飯森範親は、日本センチュリー交響楽団の首席指揮者を務め、ドイツの作曲家の作品も得意とする。日本センチュリー交響楽団は、定期演奏会や飯森が心血を注ぐ「ハイドン・マラソン」をザ・シンフォニーホールで行なっており、このホールの音響を知り尽くしている。どの作品も、弦楽器の魅力がフルに堪能させる名曲で、飯森&日本センチュリー響、そして二人の俊英がどのように音楽を作り上げていくのか、大いに期待される。

(文 道下京子)

【指揮】飯森範親 【ヴァイオリン】郷古 廉 【チェロ】佐藤晴真
【管弦楽】日本センチュリー交響楽団

ドヴォルザーク：「謝肉祭」序曲 op.92
ブラームス：ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 op.102
ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調 op.95 「新世界より」

2023.10/29 (日) 2:00PM

S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】日本センチュリー交響楽団/ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：5/25 (木) 一般発売：5/28 (日)



管弦楽 日本センチュリー交響楽団

©Masaharu Esuchi

Japan Century Symphony Orchestra × The Symphony Hall

Best of Orchestra 2023

若き巨匠の新世界

これからのヴァイオリン界を担う郷古 廉 &

ミュンヘン国際コンクール覇者の佐藤晴真…

世界トップクラスのふたりが、

ソリストにコンマス&首席奏者に大活躍のコンサート

■ チェロ ■

佐藤晴真

■ 指揮 ■

飯森範親

■ ヴァイオリン ■

郷古 廉



©Seiichi Saito

©山岸 伸

©Hisao Suzuki



指揮 秋山和慶

作曲家であることに加えて、この曲は大阪市音楽団の1960年4月に開催された第1回定期演奏会の1番最初に演奏された楽曲となっております。

そして、2人目の生誕100周年の作曲家は、クリフトン・ウィリアムズの楽曲から「ザ・シンフォニアムズ」交響組曲の2曲を取り上げます。クリフトン・ウィリアムズは、アメリカの吹奏楽界の黎明期から活躍しており、また作曲のみでなく、教師としても後進の作曲家を数多く輩出した人物です。

今回の2曲は1950年代から1960年代に作曲された楽曲ですが、アメリカの吹奏楽の礎を築いた彼の楽曲は、現代においても吹奏楽の豊かな音色を引き出しております。

3人目の生誕100周年の作曲家は、スタニスワフ・スクロヴァチエフスキです。彼は、ポーランドの名指揮者としても知られておりますが、作曲家としても管弦楽作品を中心に交響曲や協奏曲を数多く作曲しております。今回選曲したのは、「ミュージック・フォー・ウィーンズ」です。この楽曲は、4カ国、9団体から共同委嘱を受けた作品となっており、管弦楽ではなく管楽器のみの管楽演奏での響きを求めて、作曲されました。日本初演以降の再演がなかった楽曲ですので、

[指揮] 秋山和慶
[吹奏楽] Osaka Shion Wind Orchestra

P.メニン：カンツォーナ／C.ウィリアムズ：ザ・シンフォニアムズ／C.ウィリアムズ：交響組曲／S.スクロヴァチエフスキ：ミュージック・フォー・ウィーンズ／F.エリクソン：序曲「祝典」／F.エリクソン：交響曲 第3番

2023.6/4 (日) 2:00PM
S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円(税込)

[お問い合わせ] Shionチケットセンター 0800-919-5508
[主催] 公益社団法人 大阪市音楽団

発売中

今回の演奏が貴重な機会だと言えます。

4人目の生誕100周年の作曲家は、フランク・エリクソンです。序曲「祝典」と「交響曲第3番」は、エリクソンらしいフレーズが随所に出てくる佳作です。

今回は、生誕100周年でしか組めない特別なプログラムをお届けいたします。オオサカ・シオン・ウィンド・オーケストラの芸術顧問就任20周年となる秋山和慶との演奏を、是非ザ・シンフォニーホールでお楽しみください。



えっ？
まだ聴いたことがないなんて！

『ザ・シンフォニーホール スーパーブラス』は、「オオサカ・シオン・ウィンド・オーケストラ」と「ザ・シンフォニーホール」の共同企画により2022年7月に誕生したばかりなので、まだ知らない人が多いのもわかりますよね。それにしても一年足らずで話題を集めている理由がそこにはあるのです！

指揮者・喜多弘悦が最も大切にしている「めっちゃ楽しい！」をモットーとし、話題のプロジェクトマッピングと迫力満点のブラスサウンドが五感を刺激する、エンターテインメント・ショーとしてこれまでにないザ・シンフォニーホールの新時代のコンサートスタイルを築いています。

レパートリーもクラシックだけでなく、ポップス、アニメ、ミュージカル、映画等、あらゆるジャンルの音楽を取り上げ、シリーズとして年4公演を開催し、好評を博しています。

また、『ザ・シンフォニーホール スーパーブラス』は主催公演だけでなく、「東洋テックグループ」、「千里ロタリークラブ」、「クールジャパンパーク大阪」等、企業団体主催公演にも招かれ、今最も注目を集めているウインド・オーケストラの一つなのです。

まるで遊園地にいるみたい！

「コンサートが初めて！」という方にもとつきやすい、この『ザ・シンフォニーホール スーパーブラス』の特徴は、「4歳以上入場可」、「指揮者・喜多弘悦の軽快なお話付き」、「ファンタジックなプロジェクトマッピング」、そして会場全体を包み込む「迫力満点のサウンド」で、どの世代にも愛される唯一無二のスーパーブラスサウンドが味わえるのが最大の魅力となっています。

どうぞ、この未知の世界を味わいに来て観て下さい。そう、まるで



遊園地にいるような「めっちゃ楽しい！」ひと時をお過ごしいただけるのですから。

今回の《ブラスdeアニメ》「夏休み！ディズニー名曲集」では、「美女と野獣」、「アラジン」、「パイレーツ・オブ・カリビアン」、「アナと雪の女王」等、みんな大好き！ディズニーの長編アニメ映画の名曲を集めてお届けします。誰もが知っているディズニー音楽の数々をたっぷりとお楽しみいただけます。ザ・シンフォニーホール押しのコンサートです。さあ、夏休み！8月20日は、どうぞご家族みんなでザ・シンフォニーホールに遊びに来て下さい。

[指揮・お話] 喜多弘悦
[演奏] The Symphony Hall Super Brass

「美女と野獣」／「アラジン」／「パイレーツ・オブ・カリビアン」／「アナと雪の女王」等から

2023.8/20 (日) 3:00PM
全席指定 一般 6,600円 高校生以下(4~18歳) 3,300円(税込)
※4歳のお子様からご入場いただけます ※プロジェクトマッピング付き

[お問い合わせ] 大阪アーティスト協会 050-5510-9645

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約：5/25 (木) 一般発売：5/28 (日)



2023年に生誕150周年を迎えるセルゲイ・ラフマニノフ

ラフマニノフ記念年！ロシア音楽ならチャイコフスキーの覇者の上原彩子！

ピアニストの上原彩子。彼女の名前は、ザ・シンフォニー・ホール聴衆にはもうおなじみではないだろうか。女性としてそして日本人として初めて2002年のチャイコフスキー国際コンクール優勝を成し遂げたことは当時も大きなニュースになったが、何よりも驚かされたのは彼女の演奏水準の高さである。大柄の男性ピアニストにもひけをとらない豊かに鳴り響く音色と曲への深い知識に裏打ちされた表現力は、以後ますます磨きがかかり、熟練のピアニストとして、大阪の聴衆を魅了してきた。昨年はデビュー20周年コンサート・ツアーをザ・シンフォニー・ホールでも開催し、好評を博したのは記憶に新しい。

2023年に生誕150年、没後80年を迎えるロシアのセルゲイ・ラフマニノフは、数々のピアノ名作で演奏機会も多い作曲家だが、上原彩子の待望のリサイタルは、記念イヤーのラフマニノフがテーマである。モスクワ音楽院の教授として知られるヴェラ・ゴルノスタエヴァに幼少より長らく師事した上原は、打楽器でもあるピアノから、美しい歌を引き出す重要性を教わったというが、まさにラフマニノフが受け継いできたロシアピアニズムの体現者でもある。幼くしてロシア音楽を身近に感じていた上原にとって、ロシア音楽は数多いレパートリーの中でも中核となっており、とりわけラフマニノフの「包み込んでくれるような深さ」が好きだと語っている。

今回取り上げるのは、記念イヤーのオール・ラフマニノフ・プログラムにふさわしいもので、ロシア風の柔和な叙情味の感じられる小品から、古典的な風格のあるソナタまで織り交ぜたものである。フィギュアスケートで取り上げられたことでも有名になった《鐘》を含む《幻想小曲集》は、5曲からなるラフマニノフの初期の作品。《セレナード》《道化師》といった若き作曲家の洒落な一面も知ることができる。1907年に完成されたソナタ第1番は40分近くにおよぶ大作で、骨太の響き、名人芸的な技

巧の見せ場もある作品。数多くの音がちりばめられておりオーケストラ的な壮大さも備えている。そして名曲揃いである《前奏曲》から抜粋した数曲も取り上げられる。ラフマニノフらしいリリックで多彩な世界が凝縮されている小品集で、上原ならではの優雅さも備えた演奏に期待したい。

シヨパンや古典派の作曲家と比べて、より自在に弾くことが出来る点に、ロシア音楽の魅力を感じると語っていた上原。これまでも名演を聞かせてくれていたラフマニノフで、無二の演奏を聴かせてくれるにちがいない。

(文 伊藤制子)

[ピアノ]上原彩子

《オール・ラフマニノフ・プログラム》

幻想的小品集:エレジー 変ホ短調 op.3-1、前奏曲「鐘」嬰ハ短調 op.3-2、メロディ ホ長調 op.3-3、道化師 嬰ヘ短調 op.3-4、セレナード 変ロ短調 op.3-5 / ピアノ・ソナタ 第1番 二短調 op.28 / 前奏曲集:変ロ短調 op.32-2、ヘ短調 op.32-6、ヘ長調 op.32-7、イ短調 op.32-8、イ長調 op.32-9、ロ短調 op.32-10 / ピアノ・ソナタ 第2番 変ロ短調 op.36

2023.11/23 (木・祝) 2:00PM

全席指定 5,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニー・ホール

先行予約: 5/25 (木) 一般発売: 5/28 (日)



ソプラノ 幸田浩子

ピアノ・編曲 藤満 健

日本の四季を彩る懐かしい歌とともに過ごす9月の午後

季節のうつろいとともに、私たちを楽しませてくれるあでやかな花々。古来より、自然、そして花々を愛でてきた日本人にとって、春の桜や夏の青葉、そして秋の紅葉などは、欠かせない存在である。日本語の歌は、こういった春夏秋冬の自然の細やかな描写を通じて、長く受け継がれてきた。9月29日15時開演の「美しき日本のうた2023」は、平日の午後、心にしみる日本語の愛唱歌をじっくり楽しめるコンサートである。多くの歌手から、「弱音でもホールの隅々まで届く」と、そのすぐれた音響を評価されてきたザ・シンフォニーホールは、繊細な歌を楽しむにもぴったりの空間である。ここ数年、お出かけやコンサート通いから少し遠のいてしまった方々にとっても、15時開演の余裕のあるスケジュールはとてめ



ピアノ・編曲 藤満 健

プログラムは四季折々の花々や自然を描いたおなじみの日本歌曲が選ばれた。古謡「さくらさくら」はもちろん、ひそやかな哀愁も漂う「さくら横ちょう」は春を代表する名曲である。また誰もが知る名歌「荒城の月」がとりあげられるのも嬉しいかぎりだ。寂寥漂う古城の姿を繊細に歌いあげたこの曲は、世代を超えて私たちを魅了してきた。そして「ちいさい秋みつけた」や「夏の思い出」は、それぞれの季節の情感を細やかに描き出している。これらの日本の愛唱歌は、聞く人それぞれの思い出や懐かしい記憶を呼び覚まし、美しい日本語を通じて、季節の情景を味わうことができるだろう。

出演は、まさに大輪の花のごとく、華やかで品格のある舞台姿と心に響く美声で知られる幸田浩子。大阪出身の幸田は、ザ・シンフォニーホールでの出演も回を重ねており、大阪のファンからの熱い支持を得てきた名ソプラノである。ウィーン・フォルクスオーパーで専属歌手をつとめるなど、国際舞台でも長らく活躍してきたが、独仏伊語といった外国語歌唱に加えて、日本語の美しさでも高く評価されている。取材の際などにもとて

もよく通る声で話してくれるが、そうした綺麗な日本語そのままだに、歌に乗せて表現していく手腕も見事である。何度も共演しているピアニストの藤満健とともに、心に沁みる歌唱を展開してくれることに期待したい。

2019年以前の日常を取り戻しつつある昨今だが、「歌」は私たちの心をゆさぶり、明日への希望や勇気を与えてくれる崇高な力を秘めている。「歌に救われる」のは、決して誇張ではあるまい。名歌手がお送りする日本の歌のひとつときは、私たちの日常に豊かな潤いをもたらしてくれるにちがいない。

(文 伊藤制子)

[ソプラノ]幸田浩子 [ピアノ・編曲]藤満 健

ちいさい秋みつけた／さくらさくら／さくら横ちょう／林檎の花が降り注ぐ／紫陽花／夏の思い出／からたちの花／北秋の／美しき日本のうた2023／荒城の月／庭の千草／あしたのうた

2023.9/29 (金) 3:00PM

全席指定 3,000円(税込) ※休憩なし。約60分のコンサートです。

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 5/25 (木) 一般発売: 5/28 (日)



管弦楽 スーパー・クラシック・オーケストラ

「クラシック・キャラバン2021」公演より

一昨年、昨年と大好評を博した「クラシック・キャラバン」が、今年も全国各地で開催されることが決まった。

2020年春、新型コロナウイルス感染拡大により、コンサートホールで開催されるクラシック音楽のコンサートは中止・延期を余儀なくされた。（一社）日本クラシック音楽事業協会は、飛沫飛散の検証の実施や政府との協議によるガイドラインの作成などに取り組み。2021年には、困難な状況におかれたクラシック音楽界を活性化させるために日本のトップ・アーティストたちによって、全国規模で多彩なプログラムを展開し、大きな感動を巻き起こした。

ザ・シンフォニーホールで「クラシック・キャラバン」が開催されるのは3回目。

昨年までと大きく異なる点は、今年は、大阪色の濃い内容となっている。冒頭の《大阪俗謡による幻想曲》は、大阪出身の作曲家である大栗裕（1918〜82）によるオーケストラ作品。このプログラムでは、コンチエルトが2曲披露される。

まず、なだれ落ちるようなピアノのパスセージで劇的に始まるグリグ《ピアノ協奏曲》を、松田華音が演奏する。彼女は、ザ・シンフォニーホールの「熱狂コンチエルト」のシリーズにも初出演を果たす。心に染み入るような情感に満ちあふれ、同時に熱いパッションを迸らせる松田のグリグに期待が膨らむ。また、昨年の「クラシック・キャラバン」に出演したヴァイオリンの南紫音が、今年もザ・シンフォニーホールの舞台に戻ってくる。世界最高峰の若手アーティストの登竜門のロン・ティボー国際コンクールで、彼女は高校生にして第2位を受賞。日本のトップ・ランナーのひとりとして活躍し続けている。淡いロマンティズムに満ち満ちた名曲のメンデルスゾーン《ヴァイオリン協奏曲》を、南ならではの美しくしなやかなサウンドで聴かせてくれるに違いない。

コンサートを締めくくるとは、サン・サーンス《交響曲第3番「オルガン」》。この交響曲には、オルガンもとり入れられている。これまで何度もザ・シン

クラシック音楽の殿堂、ザ・シンフォニーホールから大阪の底力を発信。

ンフォニーホールで演奏し、イス・クーン社製のオルガンを知り尽くした大阪出身の富田一樹が、このコンサートに出演する。ライプツィヒのバッハ国際コンクールオルガン部門において日本人で初めて優勝した注目される逸材だ。

指揮の飯森範親は日本センチュリー交響楽団の首席指揮者として、大阪に深く根差した活動を続ける。オーケストラは、日本中から名手たちが集結するスーパー・クラシック・オーケストラ。そして、このコンサートの司会は、朝日放送テレビのアナウンサー堀江政生。クラシック音楽をこよなく愛し、コンサートの司会者としても定評がある。3人の子どもたちはヴァイオリン、チェロ、ピアノ奏者として活動し、「堀江トリオ」としても知られる。

世界中の人々から広く愛される名曲中の名曲を、ザ・シンフォニーホールのすぐれた音響とともに、豪華アーティストたちによる卓越した演奏でじっくりと堪能していただきたい。

(文 道下京子)



ピアノ 松田華音

©Ayako Yamamoto



指揮 飯森範親

©山岸 伸



オルガニスト 富田一樹



ヴァイオリン 南紫音

©Shuichi Tsunoda

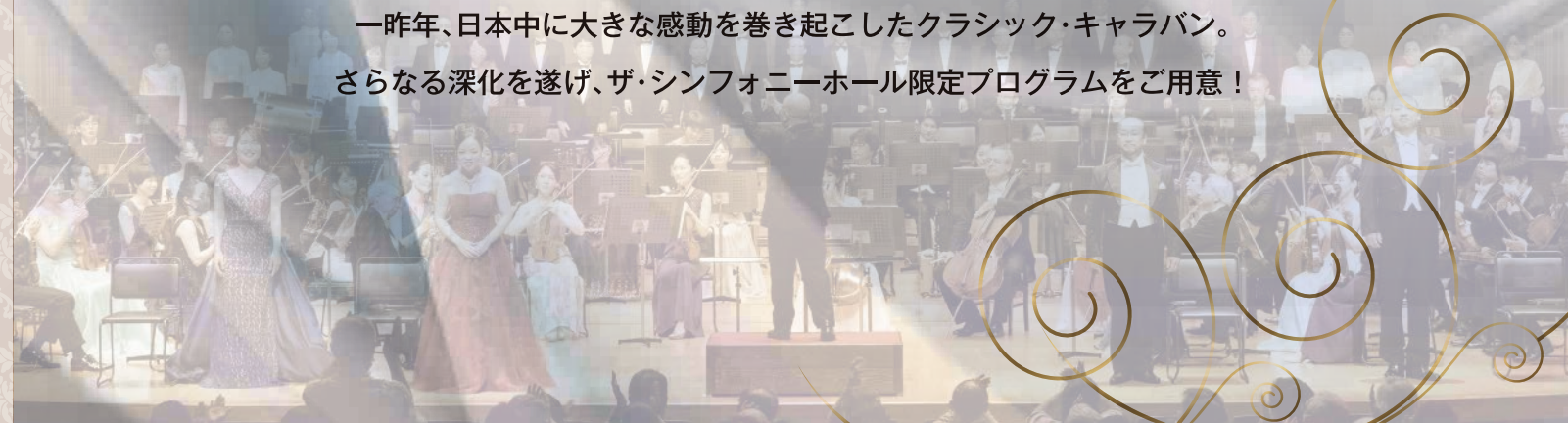
クラシック・キャラバン2023 華麗なる ガラ・コンサート

三年連続開催決定！

超名曲を気鋭のアーティストが奏でる絢爛豪華なコンサート

一昨年、日本中に大きな感動を巻き起こしたクラシック・キャラバン。

さらなる深化を遂げ、ザ・シンフォニーホール限定プログラムをご用意！



【指揮】飯森範親 【ピアノ】松田華音 【ヴァイオリン】南 紫音
【オルガン】富田一樹 【管弦楽】スーパー・クラシック・オーケストラ
【司会】堀江政生

大栗裕：大阪俗謡による幻想曲／グリグ：ピアノ協奏曲 イ短調 op.16
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 小短調 op.64
サン＝サーンス：交響曲 第3番 ハ短調 op.78 “オルガン付き”

2023.10/9(月・祝) 3:00PM

S 6,000円 A 4,500円 B 3,000円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】一般社団法人 日本クラシック音楽事業協会／ジャパン・アーツ

シンフォニア会員先行：5/25(木) 一般発売：5/28(日)



助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



The Symphony Hall BIG BAND

ザ・シンフォニーホール・ビッグバンド

vol.20

星に願いを

ゲスト/ヴァイオリン 古澤 巖
Music Director 菊池寿人

記念すべき第20回は

七夕の日に「星に願いを」!!

聴衆に喜びと感動を最優先に与える誰にも真似のできないバンドを創りたいという思いで、2016年に誕生したジャズ・ビッグバンド「The Symphony Hall Big Band」(以下TSHBB)。ミュージックディレクター菊池寿人率いる16名のミュージシャンが一つとなつて奏でるジャズ・ナンバーの数々は、毎回聴衆を魅了し続け、ザ・シンフォニーホールがクラシック音楽専用のコンサートホールとして新たに試みた画期的なシリーズの一つとなつて、話題を呼んでいる。器楽アンサンブルの可能性と、「残響2秒」という特性を生かして、最小限のスピーカー使用により、「生音」を重視した音質に拘り続けている。楽曲も毎回新しいアレンジで「オリジナルテイ」を大切にしているのもTSHBBの特徴の一つだ。

今年も夏の一夜に参加させて頂きます。星空の下、皆様と名曲と共にザ・シンフォニーホールならではの贅沢なサウンドを是非。

古澤 巖

また、メンバーの中でも紅一点のピアニスト宮川真由美の底力も特筆すべきで、彼女の臨機応変なピアノと、メロディメーカーの菊池寿人が、TSHBBを一つにまとめ上げていると言えるよう。

今回の記念すべき第20回には、立ち上げ時よりTSHBBに賛同し、毎年出演しているヴァイオリンの巨匠古澤巖を迎えて、まさに七夕の日に「星に願いを」!! 演奏曲も「星」にまつわる名曲の数々が散りばめられ、古澤巖とTSHBBとのセッションは、「How High the Moon」と「Stardust」などが予定されており、今回も心震える新鮮なサウンドを聴かせてくれることだろう。

今回のプログラムには、ジャズのスタンダード・ナンバーに欠かせない前述の2曲の他、「Stella By Starlight」をはじめ、「星めぐりの歌」(作詞・作曲…



過去公演の様子

宮沢賢治)、「見上げてごらん夜の星を」(作詞:永六輔、作曲:いずみたく)等の邦人作品も取り入れられ、どんなアレンジで聴かせてくれるのかがとても楽しみだ。

コロナ禍を経て、「もう我慢できない!」「緊急招集!」と題してコンサートが再開し出し、メンバー達も「舞台に立てる!」という当たり前だった日常に感謝を取り戻すことができた。第20回という節目のコンサート、まさに彼らの音楽ができることへの喜びが、このザ・シンフォニーホールの音空間にTSHBBのスーパー・サウンドとなつて響き渡ることだろう。

[演奏]The Symphony Hall Big Band
[ゲスト]古澤 巖 (ヴァイオリン)

How High the Moon / Stardust / 星めぐりの歌 / 見上げてごらん夜の星を /
When You Wish upon a Star / SWINGIN' ON A STAR /
Stella By Starlight ほか

2023.7/7(金) 7:00PM

全席指定 7,500円(税込)

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



ゲスト 布施明

大阪響ポップスオーケストラ、ビッグ・ゲストを迎えての真秀の響。日本が誇る唯一無二のシンガー、布施明さん。そして世界的トランペッターのエリック・ミヤシロさん。ジャンルおよび世代を超えたビッグ・ネームの両者が、ダブル・ゲストとしてオーケストラ・コンサートの舞台に登場する。その音楽界の大スターたちと、新編成の大阪響ポップスオーケストラを赤い糸で結ぶのは、作編曲家・指揮者であるマエストロ、藤野浩一さん。大阪交響楽団・事務局長の赤穂正秀さんが、藤野さんに公演の抱負などを伺った。

度々共演されてきた布施明さんの魅力とは――

「これまで布施さんとはテレビの音楽番組や各地のオーケストラと沢山ご一緒させて頂いて来ました。布施さんが持つ音楽のあまりの深さが分かるだけに、当初『私如きが布施さんに触れてはいけない!』と自戒していました。歴史や日本語の語源にも詳しい博識な方で、お話するのも怖いほど臆していたのです。2019年12月、布施さんがニューヨークの僕の家遊びに来て下さり『来年は東京五輪だね。日本人の心を鼓舞する曲を書かない? 僕が詩を書くからさ』と仰って、曲作りがスタートしました。コロナウィルスの蔓延によりレコーディングも延び延びになりましたが、最終的にはコロナ禍に苦しむ日本人を鼓舞する曲『まほろばの国』として結実しました。そんな布施さんの熱い想いをフルオケでお聞き頂きたいと思っています。」

エリック・ミヤシロさんとの共演歴は長いのですか?――

「エリックさんとのスタジオワークは来日間もない89年から。そしてオーケストラとの共演は96年、神奈川フィルにゲストで来て頂いた時からなので、もう30年以上の付き合い合いますね。彼のハイノートの素晴らしさは言うまでもありませんが『楽譜に書いてあるもののその先の表現力』は、彼が並外



トランペッター エリック・ミヤシロ

れた作編曲家である事に他ならないのです。」

この公演は大阪響にとつて初の本格的なポップス公演、楽団の新たな一面が引き出されると思います――そう意気込む赤穂さん。

「そのためには、オーケストラの中でソロができるスターをしっかりと育てていくことがとても重要だと思います。このオーケストラにはこんなすごい奏者がいるんですよ、だからこういう魅力的なオーケストラになるんですよ、是非そんなアピールが行える公演にしたいですね」

――と、藤野さんの想いも、実に熱い。

[指揮] 藤野浩一 [ゲスト] 布施明、エリック・ミヤシロ★
[管弦楽] 大阪響ポップスオーケストラ

《布施明を迎えて》

マイ・ウェイ/シクラメンのかほり (ほか)

《エリック・ミヤシロ×大阪響ポップスオーケストラ!》

ゴッド・プレス・アメリカ/ストリングス・オブ・ファイア/ザ・モア・アイ・シー・ユー★/トランペッツ・アンド・クランペッツ★ (ほか)

2023.8/26 (土) 2:00PM

SS 10,000円 S 8,000円 A 6,000円(税込)

発売中

[お問い合わせ] 大阪交響楽団チケットセンター 072-226-5522

[主催] 公益社団法人 大阪交響楽団/ザ・シンフォニーホール

広島交響楽団

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA



演奏すると同時に、 聴くことが大切なのです

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを務めるフォルクハルト・シュトイデが、創立60周年を迎える広島交響楽団と6月に広島と大阪で公演する。10年前に広響と初めて共演して以来、指揮者なしの演奏スタイルを続ける彼に今回の演奏会への思いなどを聞いた。

ヴァイオリン

Volkhard Steude

Interview

ウィーン・フィルは指揮棒の視覚的な合図だけでは演奏しません——指揮者なしの演奏をする際にどんなことを心掛けているのでしょうか。

80人の団員がいれば、音楽的な方向性は80通りあります。指揮者はそれらのエネルギーを共通する方向へと注意深く進めていきます。私も（指揮者なしのコンサートマスターとして）同じことをしてきました。まず、私が音楽的にどう考えているかを話します。そして私が語ったことをいくつかの部分で実際に演奏します。そうやって団員のエネルギーを同じ方向へと向けるのです。

大切なことは、演奏しながら（ほかの奏者の音を）聴くということです。ウィーン・フィルは（ウィーン国立歌劇場管弦楽団として）毎晩オペラを演奏します。舞台にいる歌手の声に常に耳を傾ける必要があります。ブラームスのヴァイオリンソナタを演奏する際の（伴奏）ピアニストのような役割が求められるのです。ですから、ウィーン・フィルは単に（指揮棒の）視覚的な合図だけでは演奏しません。私は、広響の団員にも同じことをするように求めています。この部分では、あの楽器に耳を傾けてください、と。もしフルートやクラリネットのソロの音が少し遅れて出たならば、その部分に時間を与えればうまくいきます。

——室内楽ではなく60人ものオケですることは並大抵のことではないのでは。指揮棒で視覚的な指示があると

拍子を取る。この先がどうなるかわく分かった上で自分の身体を動かす必要があります。

——ウィーン・フィルには4人のコンサートマスターがいますが、どのように役割分担しているのですか。

お互いのスケジュールを調整して、例えば私が日本にいく間、ウィーンで演奏しなくてもいいように最大限の配慮をしてくれます。ウィーン・フィルの演奏会では、（同一プロ

ら）室内楽ではなく60人ものオケですることは並大抵のことではないのでは。

ウィーン・フィルでも「指揮者なし」で協奏曲を演奏

——昨年3月ウィーン・フィルの演奏会でモーツァルトのピアノ協奏曲を弾き振りで演奏する予定だったダニエル・バレンボイムが直前にキャンセルした際、ピアノの代役を立てて指揮者なしで演奏しましたね。

リハーサル直前にキャンセルしたので指揮者の代役を立てる時間がなかったのです。楽団の同僚は私が指揮者なしの演奏をしていることを知っていたので、私に指揮者なしでできないかと。ヴァイオリンを弾いていない時に指揮をすることはありません。指揮者と楽器の奏者はまったく別のものです。指揮者になるには技術的なことを学ぶ必要があります。実際の音よりも先に



——プロの演奏家になろうとしたとき、なぜ独奏者よりもコンマスを選んだのですか。

私は、独奏者になろうとは思いませんでした。正直に言えば、独奏者は別のレベルだと思うからです。独奏者としてときおり演奏する機会があることはありますが、多く思っています。演奏の質を保ち、最善を尽くすことは大切なことです。コンマスには膨大なレパートリーが求められます。独奏者の主要なレパートリーは15〜20曲ほどの協奏曲ではないでしょうか。

シュトイデが広響に初登場したのは10年前。「ミュージック・パトナー」の称号で、コンサートマスターとヴァイオリンのソリストを兼ねてオケを率いる

——プロの演奏家になろうとしたとき、なぜ独奏者よりもコンマスを選んだのですか。

私は、独奏者になろうとは思いませんでした。正直に言えば、独奏者は別のレベルだと思うからです。独奏者としてときおり演奏する機会があることはありますが、多く思っています。演奏の質を保ち、最善を尽くすことは大切なことです。コンマスには膨大なレパートリーが求められます。独奏者の主要なレパートリーは15〜20曲ほどの協奏曲ではないでしょうか。

シュトイデが広響に初登場したのは10年前。「ミュージック・パトナー」の称号で、コンサートマスターとヴァイオリンのソリストを兼ねてオケを率いる

[ヴァイオリン&コンサートマスター] **フォルクハルト・シュトイデ**
[管弦楽] **広島交響楽団**

ブラームス（生誕190年）：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77
ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 op.92

2023.6/11 (日) 2:00PM
全席指定 5,000円(税込)
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] 公益社団法人 広島交響楽協会／ザ・シンフォニーホール

発売中



G a n g n e u n g P h i l h a r m o n i c O r c h e s t r a

江陵市交響楽団

Gangneung Philharmonic Orchestra Japan Tour 2023

— 2023年日本公演 —

韓国オーケストラ界の「台風の目」と称される江陵市交響楽団、初の大阪公演！

韓国の江陵市は韓国人人気のエリア、首都ソウルの隣のエリアである江原道（カンウォンド）の代表的な都市で2018年の平昌（ピョンチャン）冬季オリンピック大会でフィギュアスケートなどの室内競技が行われた場所でもある。2024年の江原道ユースオリンピックの開催予定地でもある。海に面している土地柄、白い砂浜は日の出を見る最高の場所と言われ、コーヒーマリスタたちが自然に定住地として移住してきた結果、海岸線にはいくつもの「コーヒーストリート」が誕生し、大都会から優雅な時間を過ごしたいという人たちのリゾート地としても近年有名になってきた。

その江陵に1992年に創設された歴史的には新しい公立オーケストラが江陵市交響楽団である。韓国内にはソウル・フィルやKBS



ピアノ・オルガン チョ・ジェヒョク

交響楽団など50を超えるプロの楽団があり、我が国と同様にお互いが切磋琢磨している。この江陵市交響楽団は取って新設のプロオーケとしてその中に入っていたわけだが、99年に全団員が市の正規雇用職員となったものの、良い指導者に恵まれず、約60名という団員数のまま活動が続いていたが、縁あって韓国人で世界的マエストロであるチョン・ミョンフンの息子であるチョン・ミンが2022年に第6代音楽監督に就任した途端に一気に団員の増強などを行い、今や急激な発展を遂げている。チョン・ミンは既に東京フィルのアソシエイト・コンダクター、2度の大阪公演でお馴染みのイタリア交響楽団（ボルツァーノ・トレント・ハイドン管弦楽団）の首席客演指揮者のタイトルを持っている若手の注目株。彼は献身的で熱心なハーサルや公演を通じてオーケに新しい息を吹きかけ、団員もそれに応え、今や韓国国内でも「台風の目」と称されている。そのコンビの初来日が始まる。そのコンビの初来日が始まる。

ソリストには同じ江原道エリアである春川（チュンチョン）出身のピアノニストでありオルガニストであるチョ・ジェヒョクが帯同。彼は長くアメリカ（ジュリアード音楽院

卒で活動し、オルガニストとしての活動もする韓国でも著名な鍵盤奏者で、チョンの音楽監督就任の演奏会でもソリストを務めた。今回は協奏曲と交響曲にソリストで参加する。

曲目はザ・シンフォニー・ホールのオルガンをフルに利用する、サン＝サーンスの「オルガン交響曲」や叙情性と情熱を併せ持ち管弦楽との絡みが絶妙な傑作、ピアノ協奏曲第2番など。

近い将来、アジアを代表するオーケストラになり得る上昇気流に乗った江陵市交響楽団の熱気を実際に肌で感じて欲しい。

[指揮] **チョン・ミン** [ピアノ・オルガン] **チョ・ジェヒョク**
[管弦楽] **江陵市交響楽団**

ヴェルディ：歌劇「運命の力」序曲
サン＝サーンス：ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 op.22
サン＝サーンス：交響曲 第3番 ハ短調 op.78「オルガンつき」

2023.9/6 (水) 7:00PM

全席指定 S 6,000円 A 4,000円 B 2,000円(税込)

[お問い合わせ] 日本アーティスト チケットセンター 03-5305-4545

[主催] 日本アーティスト/ザ・シンフォニー・ホール

先行予約：5/25(木) 一般発売：5/28(日)

第4弾 夏休み 自由研究 は、これで決まり!! 音楽と物語

関西フィル 第9回親子定期演奏会

来場者全員に
自由研究にそのまま使える
"研究シート"を
プレゼント!

※画像は昨年の研究シートです。

夏休みの自由研究のお悩みを、今年も藤岡幸夫&関西フィルが解決

早いもので、今年も夏休みが近づいてきた。毎年親子で頭を抱える自由研究のテーマはお決まりだろうか。いつもは工作や観察日記などで済ませてしまいう子どもたちにとってつねに「シンフォニーホールで毎夏恒例となったコンサートがある。それが、研究の観察部分をたった1日で解決してくれる「関西フィル親子定期演奏会」だ!

このシリーズは当初、就学前の4歳児が家族と一緒にクラシック音楽を楽しむための公演としてスタートし、19年から夏休みにクラシック音楽を楽しむながら自由研究にもなる演奏会へと発展した。

そんなこのシリーズを毎年指揮しているのは、TV番組などでも活躍する名指揮者・藤岡幸夫。00年から関西フィルの正指揮者に就任し、クラシック音楽の普及を意識したプログラムにも積極的に、彼は過去のインタビューでこのシリーズについて、「オーケストラの生の音を聴けば、ほとんどの子供は感じてくれるから大丈夫。でも、彼らを会場に連れてくれる親御さんがつまらないと思えば次の年の来場はな

いとと思うので、親御さんのハートも掴むプログラムを意識しています」と語っているから嬉しい。

今回の注目の公演テーマは「音楽と物語」。昨年は西洋の音楽と絵画の多彩かつ深い繋がりを紹介したが、クラシック音楽は戯曲や小説などの物語を題材に持つことが多く、今回はそれらの名曲を選び、音楽と物語の実に興味深い関係性に迫る。

例えば、オーケストラが生んだ天才モーツァルトからは、大人気アニメ「アルプスの少女ハイジ」の劇中で、籠から飛び出した子猫が大騒動を起こす場面でも使われたK.136の「ディヴェルティメント」の第1楽章。子供向けの名作を多数残したロシアの作曲家&ピアニストで、著述家でもあったカバレフスキーからは、全16曲で構成される児童劇「発明家と道化役者」の第2曲で、運動会のBGMの定番としてもおなじみの「道化師のギャロップ」。フィンラン

ドの国民的作曲家で、藤岡の十八番でもあるシベリウスからは、祖国の歴史を壮大に描いた民族叙事詩「カレワラ」のラストを飾る「フィンランドは目覚める」を後に交響詩として独立させた「フィンランディア」など、どれも親子で楽しめる物語性と聴きごたえを備えた名曲だ。

何かと騒がしい昨今、子どもや孫と一緒に心に残る幸せな時間を過ごしてみるのもよし。そして今回もコンサートで学んだことをそのまま自由研究として提出できる「研究シート」を来場者全員にプレゼント。洗練された自由研究を楽々と完成させよう!!

(文 渡辺謙太郎)

[指揮]藤岡幸夫 [司会・語り]空井仁美
[管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団

オッフェンバック:喜歌劇「天国と地獄」序曲より「カンカン」/モーツァルト:ディヴェルティメント K.136より 第1楽章/チャイコフスキー:バレエ音楽「白鳥の湖」組曲より「四羽の白鳥の踊り」/カバレフスキー:組曲「道化師」より「ギャロップ」/シベリウス:交響詩「フィンランディア」/ロッシニ:歌劇「ウィリアム・テル」序曲/メンデルスゾーン:劇付随音楽「真夏の夜の夢」より～序曲・スケルツォ・間奏曲・夜想曲・結婚行進曲～

2023.8/6(日) 2:00PM 全席指定 4,000円(税込)

※4歳以上のお子様から入場可能です。

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール/公益社団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団

発売中



五感で楽しむオルガンと
プロジェクションマッピングの饗宴

ザ・シンフォニーホールのパイプオルガンの壮大な音色とプロジェクションマッピングが一体となったコンサート『新 超絶のオペラ座の怪人』。同公演でオルガンを演奏するのは、大木麻理である。東京芸大、同大学院で学んだのち、ドイツでも研鑽を積み、ブクステフーデ国際オルガンコンクールに日本人で初優勝した気鋭のオルガニストとして、ソロ、オーケストラの共演など各地でひっぱりだこの人気奏者だ。オルガンとの出会いは10歳の頃だという。

「静岡音楽館AOOが開館する直前にオルガンを子供たちに公開するイベントがあり、ピアノ教師の母が申し込んでくれて一緒に行きまして。オルガンの豪華な雰囲気に触れて、ぜひ弾いてみたいと思ったのが、



過去公演の様子

オルガンを始めたきっかけです」。

オルガンは各地にさまざまな楽器がある。

「オルガンの魅力はオーケストラ的な壮麗さや輝き、そして響きの振り幅が大きいことでしょうか。オルガンはピアノと違い、統一した規格がないため、初めて弾く楽器の場合は機能面を調べて、音色を選ぶストップも一つ一つ鳴らしてみます。専属オルガニストをしているミューザ川崎シンフォニーホールとザ・シンフォニーホールのオルガンは同じ製作者による楽器ですが、両者の個性はまったく違いますね。ザ・シンフォニーホールのオルガンはパワフルですが、旋律も美しく響くバランスのよい楽器で、プロジェクションマッピングとの相性も抜群です」。

今回はミュージカル『オペラ座の怪人』『レ・ミゼラブル』や映画『天使にラブソングを』『美女と野獣』といった人気ナンバーがオルガンならではの編曲で演奏され、大画面のプロジェクションマッピングと連動する。大木は実は大のミュージカルファンだという。

「バレエを習っていた小学生の頃、周囲にミュージカル好きな人たちがいて、初めて『オペラ座の怪人』に行きました。ミュージカルならではのきらびやかで華麗な世界を楽しめる名作です。通常はシンセサイザーによる冒頭部分が、今回

[オルガン]大木麻理

ミュージカル『オペラ座の怪人』★/ミュージカル『レ・ミゼラブル』★/映画『オズの魔法使い』より『over the rainbow』/映画『LA LA LAND』★/映画『サウンド・オブ・ミュージック』/ミュージカル『キャッツ』★/映画『天使にラブソングを』/映画『美女と野獣』★

★プロジェクションマッピング付き

2023.7/28 (金) 7:00PM

全席指定 3,000円(税込)

※休憩なし。約60分のコンサートです。※4歳以上のお子様から入場可能です。

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

ホールの大オルガンで聞けますので、その壮麗な音響にもご注目ください。舞台芸術全般に関心があるので、オペラはもちろん、歌舞伎や宝塚なども観に行きますね。今回取り上げる映画『サウンド・オブ・ミュージック』も大好きな作品で、音楽も素晴らしいですね」。

「大阪のお客様はとても率直に反応してくださるので、ありがたいです。何度もうらしてくださる常連の方も、初めての方も、プロジェクションマッピングによる迫力のある映像と大オルガンが一体となる世界と一緒に体験していただけたら、嬉しいです」。

(取材・文 伊藤制子)



J・S・バッハのオルガンの神髄を凝縮した約1時間の音楽小旅行

晩夏の午後を、ザ・シンフォニーホールが誇るスイス・クーン社製のパイプオルガンの華麗なるサウンドに浸る贅沢なひととき。「真夏のオルガンコンサート」が、今年も多くのファンからのリクエストに応える形で盛大に開催される!

昨年は、95年イタリア生まれの俊才で、札幌コンサートホールKitaraの第22代専属オルガニストを務めたニコラ・プロカッチーニが登場し、色彩と想像力に満ち溢れたオルガン世界を聴かせてくれたこのシリーズ。今回は、88年生まれの日本人で、今や世界有数のオルガニストに数えられるようになった富田一樹を迎える。その活動は通常の演奏活動や録音の枠を大きく



オルガン 富田一樹

く越えており、TBS「情熱大陸」(16年12月)に出演したり、YouTubeでオルガンの魅力を様々な切り口で紹介する動画を配信したりするなど、まさに、オルガンの伝道師たる八面六臂の活躍ぶりだ。また、ご存知の方も多いだろうが、富田は大阪出身で、学生時代は大阪音楽大学で研鑽を積んだ、根っからの地元・浪速っ子。ザ・シンフォニーホールにも、昨年のクリスマスオルガンコンサートをはじめとした多数の出演歴があるので、このホールの楽器も、音響も、聴き手も隅々まで熟知した、この上なく頼もしいキャスティングと言えるだろう。

そんな富田が今回挑むのは、オルガン音楽の最高峰に君臨するJ・S・バッハの名曲集。昨年のこのシリーズでも前述のプロカッチーニが同じプログラムを披露してくれたので、2人の若き名手の聴き比べという意味でも大変興味深い。富田は大阪音大を卒業後、J・S・バッハの母国ドイツのリュベック音楽大学に留学し、16年にライプツィヒで開催された第20回バッハ国際コンクール・オルガン部門で、日本人で初めて優勝し、世界一を勝ちとった実力の持ち主である。J・S・バッハのスペシャリストであることはもちろん、その正統にして最先端の解釈を遺憾なく発揮してく

[オルガン] 富田一樹

《オール・バッハ・プログラム》

J.S.バッハ: 幻想曲とフーガ ハ短調 BWV537/われいずこに逃れゆくべきか BWV694/おお汚れなき神の子羊 BWV656/ピエスドルグ ト長調 BWV572/アヴェ・マリア/C.グノー(オルガン版)/主よ、人の望みの喜びよ BWV147-10(オルガン版)/前奏曲とフーガ ホ短調 BWV548「楔」

2023.8/27(日) 2:00PM

全席指定 3,000円(税込) ※休憩なし。約60分のコンサートです。

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

(文 渡辺謙太郎)

TheSymphonyHall × 関西4オケ *Pick Up* コンサート

大阪フィル ザ・シンフォニーホール特別演奏会 メンデルスゾーン・チクルス～メンデルスゾーンへの旅～I



管弦楽 大阪フィルハーモニー交響楽団



指揮 尾高忠明



ヴァイオリン アラベラ・美歩・シュタインバッハー

[指揮]尾高忠明 [ヴァイオリン]アラベラ・美歩・シュタインバッハー
[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

《オール・メンデルスゾーン・プログラム》

序曲「静かな海と楽しい航海」op.27／ヴァイオリン協奏曲 小短調 op.64
交響曲 第1番 八短調 op.11

2023.6/8(木) 7:00PM

A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円 4回セット券あり
Aセット 16,000円 Bセット 13,000円 ※セット券は大阪フィルTCのみで取り扱い

[お問い合わせ]大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890
[主催](社)大阪フィルハーモニー協会/ザ・シンフォニーホール
[特別協賛]パナソニック株式会社

発売中

尾高&大阪フィル、6年目の挑戦は「メンデルスゾーン」。メンデルスゾーンというと「ヴァイオリン協奏曲」、「結婚行進曲」で知られる『真夏の夜の夢』が有名だが、ほかには？イメージが湧かないという人が多いのではないだろうか。交響曲も「イタリヤ」の標題を持つ《第4番》以外はあまり知られていませんが、ほかにも聴けば聴くほど魅力的な作品が揃っています。6月に演奏する《第1番》は、弱冠15歳の時に書かれた曲ですが、子どもの作とは思えない凛とした品格を感じさせる作品です。メンデルスゾーンをこよなく愛する尾高忠明がその魅力にふれる旅にご案内いたします！

大阪交響楽団 第264回 定期演奏会『楽聖への憧憬』



管弦楽 大阪交響楽団



指揮 外山雄三

[指揮]外山雄三(名誉指揮者)

[管弦楽]大阪交響楽団

シューベルト：交響曲 第5番 変ロ長調 D 485
フランク：交響曲 二短調

2023.6/9(金)7:00PM

S 6,500円 A 5,500円 B 4,000円 C 2,500円 オルガン 2,000円

[お問い合わせ]大阪交響楽団チケットセンター 072-226-5522

[主催]公益社団法人 大阪交響楽団

[特別協賛]大和ハウス工業株式会社 [後援]大阪府/堺市

発売中

初期ロマン派ならではの魅力に満ちたシューベルトの「交響曲第5番」。そして、フランス音楽史上不朽の名作として知られるフランクの重厚な「交響曲」。名誉指揮者 外山雄三の至芸のタクトで味わう必聴の演奏会です。作曲家として絶妙な転調を駆使したシューベルトとフランク。その両作曲家がともに深い敬愛を寄せたのはベートーヴェンの音楽でした。大阪交響楽団とともにベートーヴェンの全交響曲の演奏・録音に取り組み、大きな反響を呼んだ外山雄三。日本指揮界の重鎮が臨むシューベルトとフランクの世界にご期待ください。

日本センチュリー交響楽団 ハイドンマラソンHM.32



フルート 永江真由子



ハープ 篠崎和子



指揮 飯森範親



管弦楽 日本センチュリー交響楽団

[指揮]飯森範親 [フルート]永江真由子 [ハープ]篠崎和子
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

ハイドン：交響曲 第55番 変ホ長調 Hob. I:55「校長先生」
モーツァルト：フルートとハープのための協奏曲 ハ長調 K.299
ハイドン：交響曲 第29番 ホ長調 Hob. I:29

2023.8/4(金) 7:00PM

A 5,000円 B 4,000円(税込)

[お問い合わせ]センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311

[主催]公益財団法人 日本センチュリー交響楽団

[協力]ザ・シンフォニーホール

発売中

飯森範親マエストロと日本センチュリー交響楽団が挑む、ハイドン全104曲の交響曲を演奏、CD化する一大プロジェクト「ハイドンマラソン」。今回は、「校長先生」というユニークな愛称で親しまれている第55番と、ハイドンの交響曲の中でも珍しいホ長調で書かれた第29番が登場です。そして一緒に楽しみたい一曲は、モーツァルトの「フルートとハープのための協奏曲」。ソリストに当団首席フルート奏者・永江真由子と、国内外で活躍目覚ましいハープリスト・篠崎和子を迎えます。フルートとハープの掛け合いが美しく躍動感に溢れた作品をご堪能ください。

関西フィル 第338回 定期演奏会『大地を揺るがす音の宇宙…現世に問う音楽のカオス』



管弦楽 関西フィルハーモニー管弦楽団



指揮 原田慶太楼

[指揮]原田慶太楼 [ヴァイオリン]服部百音

[管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団

ヴェルディ：歌劇「運命の力」序曲
ファジル・サイ：ヴァイオリン協奏曲「ハーレムの千一夜」
吉松 隆：交響曲 第3番 op.75

2023.6/16(金) 7:00PM

S 6,500円 A 5,000円 B 3,500円 C 2,500円 学生席(25歳以下) 1,000円

※学生席は関西フィル事務局のみ取扱い

[お問い合わせ]関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911

[主催]公益社団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団

[後援]朝日新聞社/朝日放送テレビ/朝日友の会/MBSテレビ/ゲート・インスティテュート大阪/京都

[協賛]阪急電鉄株式会社 [特別協賛]ダイキン工業株式会社

[助成]公益財団法人 花王 芸術・科学財団/公益財団法人 三菱UFJ信託芸術文化財団

発売中

原田慶太楼38歳、服部百音23歳：新時代の若き才能が現代の輝ける音楽遺産をフレッシュに描く！エネルギーに溢れる同時代の作品を、現代クラシックシーンが誇る若き日本人アーティストとの共演でお贈りしよう。トルコの東洋的・神秘的なファジル・サイのヴァイオリン協奏曲《ハーレムの千一夜》と、ラテン・ジャズ・ロックなど多様な音楽的要素を融合した吉松隆の大作交響曲《第3番》。この同時上演は、事件だ。現代創作の鼓動を体感する格好の舞台を見逃すな。



SCHUMANN × BRAHMS *Romance* ロマンス ピアノ・リサイタル

ベネデット・ルーポ インタビュー Interview

チッコリーニ、ボレット、マカロフに学んだイタリアの大家
ザ・シンフォニーホール初登場！

ピアノを始めたきっかけは？

「姉がピアノを弾いているそばでずっと聴いている私を見て、姉の邪魔にならないように私にもピアノを習わせたのです」

ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール入賞後に、一度来日したことがあるそうですね。

「30年ほど前です。大阪を訪れるのはこの7月が初めてです」

7月のリサイタルのプログラムのコンセプトを教えてください。

「ブラームスとシューマンには、非常に緊密なつながりがあります。ブラームスは、大きな楽曲形式を展開する能力に長けている一方で、最終的には小品に回帰し、そのなかで直接的で細やかな表現をするようになりました。シューマンは、小品のなかでデリケートな表現ができますが、『ピアノ・ソナタ第2番』では古

典的な作曲技法に回帰しています。そこをお聴きいただきたいです」
シューマンのコンチェルトを録音するなど、後期ロマン派の作品を得意としていらっしゃいます。

「私はイタリア人ピアノリストです。イタリアの音楽とドイツ音楽の違いはありますが、ロマン派の時代もそうでしたが、イタリア人音楽家もドイツ語圏の音楽家もそれぞれの国に行き来していました。ブラームスもシューマンもそうです。ふたりの作品にアプローチすることは、私にとっては難しいことではありません。それから、わたしは小さいころからドイツ文学が好きでした。ブラームスやシューマンのようなドイツ的な性格が濃く、ディープな作曲家にも親近感を覚えます」
シューマンをボレットから学んだそうですね。

「『ピアノ・ソナタ第2番』の緩徐楽章では、つねにメロディを紡ぎ出して聴かせること。もう一つは、弱音でも、大ホールの最後列のお客さまにも聴こえるように心がけることを学びました」

ルーポさんの演奏を拝聴し、歌うような表現が印象的でした。

「それはボレット先生から学んだ部分でもあります。イタリア的な

ピアノの弾き方はまさにそこにあるのです」

読者のみなさまへメッセージをお願いします。

「このリサイタルで演奏するシューマンやブラームスの作品は、彼らの日記のようなもので、個人的で細やかな感情や感覚が語られています。ささやき合い、心に訴えかけるような内密な音楽ですので、ザ・シンフォニーホールの緊密な空間でそれを感じ取っていただきたいです。でも同時に、彼らの作品はとても情熱的で、人々の共感を呼び覚まし、自分のなかに聴き手をいざ味わっていただけたら幸いです」

(文 道下京子)

[ピアノ]ベネデット・ルーポ

ブラームス(生誕190周年):6つの小品 op.118/4つの小品 op.119
シューマン:3つのロマンス op.28/ピアノ・ソナタ 第2番 ト短調 op.22

2023.7/21(金) 7:00PM

全席指定 5,000円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール/イタリア文化会館-大阪

発売中